

JAしまねびより

2018

8

August Vol.29

特集 島根のいいもの再発見!! 「斐川町 タマネギ」 斐川地区本部



島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいもの再発見!!
直撃・生産者インタビュー！



東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【斐川町 タマネギ】

8月は、斐川地区本部。出雲市斐川町で、タマネギの生産に取り組む、常松種苗(株)の常松信光社長にお話をお伺いしてきました。



お話をお伺いした常松信光社長

タマネギの生産をはじめたどのくらいになりますか？

先代の父親の時代からタマネギを栽培しています。平成23年に法人化し、種苗事業とタマネギ栽培を中心に農業を営んでいます。私自身は会社勤めを経て、農業に携わって15年になります。苗部会の一員としてタマネギをはじめトマトやスイカ、ナスビ、キュウリなどの種苗事業を行なっていく中で、おかげさまで、部会員として苗の品質は高い評価を頂いています。斐川町管内では、盛んにタマネギが栽培されていましたが、近年は生産者が減少、出荷量も減りつつあります。そうした中で、タマネギの生産を徐々に



簸川平野に広がるタマネギの圃場。

拡大、現在は3・8ヘクタールの面積で栽培しています。

年間の栽培(事業)スケジュールはどのようなものですか？

種苗店から苗部会に注文を受け、ナスビやキュウリ、トマトなどの苗を4月頃まで作り、5月をめどに出荷します。タマネギは9月に種を播いて10〜11月に苗を販売。自社での栽培は11月初旬に定植し、年が明けた5月下旬頃から6月にかけて、葉が倒れ始めたら収穫の合図、土から抜いていきます。その後7月に入ると、タマネギ苗を作るための土壌消毒など、管理を行い、一年を通して、なるべく効率よく



今年のタマネギは出来が良く、収穫量もいつも以上！

作業するよう心掛けています。

タマネギの栽培で感じる 事や、大変なことなどお りますか？

露地の色々な野菜と同じだ
と思います。天候や病気には
細心の注意を払っています。
特にべト病が厄介で、病
気が蔓延しないように管理を
徹底しています。また今年の
2月、急激に冷え込んだ影響
で早生（わせ）品種のタマネ
ギの生育が遅れました。毎年、
色々なケースが出現し、試行
錯誤しています。自分のイ
メージ通りにはいかず何が正
解か、さっぱりわからない事
も多々あります。ただ、失敗
を糧に、困難に立ち向かって



出荷作業は機械選別を導入し、効率があ
がったとはいえ、細々とした手作業や人の
目がもちろん重要で、一番手のかかる作業。



余分な茎と根を切り落とす作業は、タマネギ
を長持ちさせるためにも、とても大事。

いく事が農業の面白みでもあ
ると感じています。去年は初
めて、モチ米を栽培している
圃場約1ヘクタールの裏作と
してタマネギを定植し、無事、
収穫することができました。

タマネギの出荷には、選別
機を使いSから2Lサイズに
分別して出荷します。作業量
が多く、収穫したタマネギの
先端、余分な茎部分と根を、
ハサミを使い1個1個手作業
で切ります。みかんの選別機
を応用した穴にタマネギを通
して大きさを選別。この一連
の作業をパート従業員7〜8
人で行っています。適度な大
きさや長さになった苗を品種
ごとに100本単位、ワラで
結んで出荷します。多い時で
20万本位出荷します。すべて
手作業なので、労力をとても
要します。

タマネギは大小あります が、大きさによって味の 違いなどあるのですか？

大きさによる味の違いは特
にないと思います。多くのご
家庭でタマネギは身近な野菜
で、色々な食べ方があると思
いますが、焼く・煮込むこと
で、タマネギ本来の美味しさ
を楽しむことができます。大
きさによっての味の違いは大
差ないものの、早生（わせ）
のタマネギは一般的に甘みが
あり、柔らかいとされ、奥手
はよりシャキシャキ感を堪能
することができます。また、
現在栽培しているタマネギは
加工用として多く出荷してお
り、なるべく大きくするよう
にしています。

今後の抱負や展望を聞か せてください。

法人としてタマネギ生産に
携わる上で、従業員の存在が
あってはじめて、事業として
成り立つので、従業員を第一
に考えています。収穫や出荷
時など大事な時期に人手がい
ないと後手後手になり計画通
りにいかなくなりません。従業
員を第一に考え、ちよつと空
いた時間や、土日のみの勤務



出荷作業には多くの人手を要し、その人
手を確保することが経営の鍵を握るという。

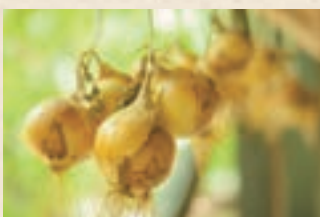
など、個人の生活スタイルに
合わせて働いてもらえるよう
努めています。遠方から出勤
する従業員もおり、ありがた
い限りです。みんなが和気あ
いあいとしながらも、真剣に
作業する姿は心強いです。少
子高齢化でタマネギを作る人
は少なくなってきましたが、食
卓には必要不可欠なものが、
食卓には必要不可欠なものが、
今後も美味しいタマネギを
作り続けて行きたいと考えて
います。



常松社長の笑顔に、今後の農業経営の
変化やあり方を見せられたような気がする。

タマネギ 一口メモ

斐川町では、以前はタマネギ栽培をする人がたくさんおり、野菜部会も概ね200人の会員がいたが、現在は数十人の規模まで縮小した。タマネギは価格の変動が比較的大きいとされ、輸入品も台頭してきたことから、徐々にタマネギの生産が減少してきた。そこで常松さんは機械化を進め、加工用としての出荷を強化、出東地区では最大規模でタマネギを生産している。規格外のタマネギは社会福祉施設に無料で譲渡するなど、社会貢献も定期的に行っており、斐川町産のタマネギが途絶えないよう使命感を持って生産している。



＼チャレンジ／「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

島根米の安定的取引拡大と販売拡大に向けた取り組み

需要や引き合いの強い米の生産、販売をすすめることで、長期安定的な販売が確保でき、稲作経営の安定・維持につなげることができることから、JAしまねは販売先卸と事前契約（収穫前契約・複数年契約）の締結に積極的に取り組んでいます。

販売先卸を通じて量販店や中食・外食等の実需者と産地の間で安定取引を拡大していくとともに、産地と実需者との結びつきによる「顔の見える販売」の強化につなげていきます。30年産島根米では事前契約をJA集荷目標値の80%にあたる34,000トンを目指し契約推進を行っているところです。

また、販売先卸ならびに実需者からは、特に「きぬむすめ」と「つや姫」に対しての要望数量（引き合い）が高く、今後ますますの作付拡大が求められています。

一層の生産、販売拡大につなげるべく、販売促進活動にも力を入れており、沖縄県での販売促進活動を4年前から実施するなど、「島根県産つや姫」は認知度を含め定着しています。また、県内においては島根米の販売促進、消費拡大に向けて広告宣伝・PR対策の強化に努めています。



<沖縄県におけるつや姫の販売促進活動>



<きぬむすめのテレビCM>

島根米生産者の皆さまへ

JAしまねでは、「農業者の所得増大」を最大目的として、JAに出荷をいただく島根米生産者の皆様からの30年産米の買取手法について以下のとおり実施させていただきます。

1. 出荷時の「仮単価」と、12月の「追加金」の2段階によるお支払いをいたします。なお、お支払いの考え方は29年産と同様とします。

8月以降12月にかけて、全国の作付状況や作況、また収穫量が公表され、これらの状況をふまえた需給見通しなどにより販売価格も左右されます。このことから、より精度の高い買取金をご提示するために2段階によるお支払いにより、生産者の皆さまの所得向上と計画的な営農を支援します。

2. さらに、精算可能財源が生じれば、翌年11月を目途に最終精算金をお支払いします。

これからも、結びつきの強い「島根米」の販売を通じて、高評価の確立を目指してまいりますので、30年産米も1袋でも多くJAへ出荷いただきますようお願い申し上げます。



JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

農事組合法人 サンライズうづか

組合長 向山 剛之

海士町の農事組合法人『サンライズうづか』では現在主食用米17ha、WCS（稲発酵粗飼料）用稲2.5haを栽培し水稻中心の経営を行っております。平成19年に経営面積10haでスタートし、現在の組合員数は13名です。耕作放棄地をなくし農地を維持する、地域の発展に貢献するなど地域農業を守るということを基本方針にしています。



JAしまねの農業振興支援事業を活用し平成28年にコンバイン、29年に大型の田植機を導入し、経営規模の拡大、作業効率の向上をすすめ、販売額も1,700万円と順調に実績を伸ばしています。また安心・安全・美味しい農産物を消費者に提供するため「美味しまね認証」の取得に向けた取り組みも始めています。

近年は異常気象・農業者の高齢化・担い手不足など農業を取り巻く環境はとても厳しい状況におかれています。マイナス面ばかりが目立つ時代だからこそ農業振興のチャンスと捉え、JAしまねと共に奮起し魅力ある事業活動ができるよう汗を流してまいりたいと思います。そして我々の取り組みに少しでも共感していただき、新規就農される若者が増える事を心より期待しております。

理事会情報（6月29日開催）

協議事項

- ① 農業所得増大・地域活性化応援プログラム「平成30年度県域企画応援事業計画」及び各要領の設定について
- ② 組合と理事との取引（契約）の承認について
- ③ 第4事業年度業務報告書について
- ④ デイスクロージャー誌2018について
- ⑤ 運営体制改革にかかる今後の進め方について
- ⑥ 理事の個別役員報酬額の決定について

報告事項

- ① 平成30年度JAしまね農業振興支援事業第1回（6月）申請について
- ② 「摘果メロン」に対する農業誤使用について
- ③ 米穀園芸情勢について
- ④ 畜産情勢について
- ⑤ 平成30年度第2四半期の余裕金運用計画額および運用方針について
- ⑥ 平成29年度防犯カメラ寄贈について
- ⑦ 平成29年度カーブミラー寄贈について
- ⑧ 組合と理事との取引（契約）の報告について
- ⑨ 未収金等の債権の償却について
- ⑩ 個人情報法の違反又は法違反のおそれのある事案に関する報告書の提出について
- ⑪ 平成30年5月末主要実績について
- ⑫ 平成30年5月末月次決算について
- ⑬ 旧松江JA会館跡地の活用について
- ⑭ 就業規則制裁条項の適用について
- その他① 農政をめぐる情勢について
- その他② 青年・女性理事活動報告等
- その他③ 全農低価格モデルトラクタの機種決定について

雲南

「おもてなしプロジェクト」 JA自己改革を応援！

JAしまね雲南女性部は、今年度の統一行動として「おもてなしプロジェクト」と名付けたJA支店の美化活動を始めました。JA自己改革の後押しとなるよう「自分たちのJAを自分たちで守る」という意識を女性部員で共有するために、高橋美佐子部長が提案しました。高橋部長は「JAは自己改革の正念場を迎えている。JAをよりどころとしている私たちは大きなことはできないが、一緒に歩みを進めていく姿勢をアピールしたい」と思いを話します。

女性部雲南吉田支部は、植え込み花壇の剪定や入口付近の清掃。大東支部と加茂支部は、玄関周りを花で飾りました。参加した部員は「訪れた方々が、きれいな花で和んでもらえれば嬉しい。小さな活動だが、自己改革への大きな一歩だと感じた」と話します。

大東支店の糸原支店長は「ありがたいの一言。JAグループも自己改革の取り組みを加速しているが、私たちには強力な応援団がいることを実感した」と感謝を述べました。



支店職員と協力し「みどりのカーテン」やプランターを準備しました

隠岐

JAカップ学童野球 松江・隠岐地区予選

JAカップ第35回島根県学童軟式野球選手権大会の松江・隠岐地区予選が7月14日から3日間、松江市鹿島町の深田運動公園野球場など4会場で行われました。24チームが出場し、隠岐からは、都万レッドスターズ・五箇ミラクルズ・西郷ファイターズの3チームが参加いたしました。

大会前日には、隠岐汽船ターミナル内において壮行式が開催され、佐々木賢治本部長が「健闘を祈ります」と各チームを激励しました。

隠岐の島町では島内の子供が減少し、野球チームの維持も困難になってきている中で各チームとも健闘しました。優勝は城西レッドスターズで、8月18日・19日の両日、松江市営球場で開催される県大会へ出場いたします。



くにびき

くにびき女性部が最優秀賞！ 中四国地区JA女性組織リーダー活動発表

くにびき女性部の諏訪智子さん（津田支部）が7月5日、米子市で開催された2018年度中四国地区JA女性組織リーダー研修会の「組織体験活動発表」に、島根県代表として出場し、最優秀賞に輝きました。

研修会は5日・6日の2日間行われ、9県のJA女性部員約250人が参加し、会員相互の交流を深めました。

当日は、各県の代表が自組織の活動について発表。諏訪さんは「食で繋（つな）がる縁・笑顔が広がる女性部の輪」と題し、郷土食材を使った料理教室や裏方として料理を提供した婚活イベントなど、女性部が関わった、さまざまな活動をユーモアを交え紹介しました。

審査員からは「とても力強く、表現力もすばらしかった。今後、さらに地域を活性化してくれるだろうと期待が持てる発表だった」と講評。諏訪さんは「名前を呼ばれた時は、びっくりした。女性部みんなの活動の賜物。JA全国女性大会でもしっかりPRしたい」と喜びと抱負を語りました。

来年1月のJA全国女性大会に諏訪さんは、中四国代表として出場します。



やすぎ

大型特殊免許(農耕車限定) 取得講習会開催

やすぎ地区本部は6月27日・28日の2日間、安来市穂日島町のやすぎ担い手支援センターで、大型特殊免許（農耕車限定）の取得に向けた講習会を開催しました。市内の営農組合や新規就農者など総勢10人に受講いただき、基本操作の確認や試験のポイントなどを学びました。

この講習会は、近年、営農組合や大規模農家において大型機械の導入が増加する中、免許を取得し安全に使用してほしいとの思いから毎年開催しています。講師は免許を持つJAの職員ががつとめ、受講者は交通ルールなどの座学講座を2時間程度受けた後、敷地内で実際に大型トラクターを運転し、走行確認や方向変換などの練習を行いました。

JAの職員は「試験に受かることも大切だが、安全に使用してもらうことを第一に免許取得の推進に力を入れています」と話しています。



斐川

はとむぎの魅力伝える

はとむぎ茶を中心とした関連商品を開発・販売しているJAしまね斐川地区本部よい食工房は、はとむぎの魅力地域の人たちに広く知ってもらい地産池消につなげようと、はとむぎ料理講習会を同地区本部のあぐりキッチンふぁみーゆで開催しました。講習会には、町内外から約30人にご参加いただきました。講師にはマクロビオティックを実践している郷土マクロビアン岡里美さんを招き、「誰でも簡単・お手軽レシピ」と題して、「はとむぎ冷やし坦々うどん」「はとむぎ入りポテトサラダ」など計4品を紹介しました。岡さんに手ほどきを受けながら調理をして、完成したあとはみんなで味わいました。岡さんは「料理を通じてマクロビオティックを楽しんでもらうことが一番の喜びです」と話し、参加者からは「いろいろな加工品があり様々な食べ方ができアレンジしやすいのも魅力」と感想が寄せられ、講習会は大盛況となりました。



隠岐 どうぜん

西ノ島町畜産振興施設が完成 家畜市場を開催

6月26日(火)浦郷市場(旧浦郷農協管内)老朽化に伴い建設が進められていた「西ノ島町畜産振興施設(旧黒木農協管内、美田船越)が完成しました。西ノ島町主催の竣工式が施設のお披露目を兼ねて行われ、当地区本部もJA農産加工場にて製造した紅白餅でもち投げをしました。

この西ノ島町畜産振興施設は、穏やかな美田湾の海岸道路沿いに立地しており、誘導レー尔付家畜市場セリ場、郡内家畜集出荷施設、飼料倉庫、糞尿処理施設、畜産研修施設が配置されています。当地区本部ではこの機能を余すところなく活用し、今後畜産業が地域の旗手となるよう取組んでまいります。また、7月5日(木)には同施設初の西ノ島家畜市場が開催されました。子牛119頭・成牛10頭の上場があり、畜産農家をはじめ関係者の方々にご協力いただき無事にセリ終えることができました。



石見銀山

職員海岸清掃ボランティア

大田市の各種団体で構成する「大田市海岸を美しくする活動実行委員会」は7月15日、同市久手町の「迫海岸」の清掃作業を行いました。実行委員会の一員である石見銀山地区本部からは、39名の職員が参加しました。

同実行委員会は、毎年海水浴のシーズンになると市内の関係機関、市民へ海岸清掃ボランティアへの参加を呼びかけ、海岸のごみ拾いをしています。参加者が一斉に清掃することで、生活環境の保全や海洋環境の保全の意識を高めることを目的としており、今年で15回目を迎えます。

当日は早朝から多くの構成団体が集まり、炎天下の中、海岸清掃を行いました。



迫海岸のごみ拾いをする職員

出雲

県版GAP「美味しまね認証」 認証産品を生産者がPR

ラピタ本店で7月17日から22日の6日間、島根県版の農業生産工程管理(GAP)制度「美味(おい)しまね認証」の認証産品のフェアを開きました。17日と21日は菌床しいたけ、アスパラガスの生産者らが店頭立ち、試食販売で消費者と交流しました。

販売したのは菌床生しいたけ、アスパラガス、青ネギ、「こめたまご」の4産品。試食には全ての産品を使ったオムレツを用意しました。会場には「美味しまね認証」の詳しい説明を掲示し、安全性と優れた品質が認められた産品であることをPR。来場者は「今まで意識したことがない制度でしたが、話を聞いて初めて分かりました」と話しました。

(有)旭養鶏舎、(有)福田ファームの「こめたまご」、JAしまねエコネギ研究会県認証グループの青ネギは、平成21年に認証を取得。JAしまね出雲しいたけ部会が生産する菌床生しいたけ、JAしまね出雲アスパラガス部会美味しまね認証グループが生産するアスパラガスは、今年3月に取得しました。安全・安心を目に見える形でPRしていきます。



販売した4産品

西いわみ

「おいしい」を届けます。 益田産アールスメロン初出荷

JAしまね益田メロン部会（部会長松本哲夫）は7月4日、夏の贈答需要期に向けたメロン「アールス」の出荷を始めました。

同部会では「アールス」の出荷時期を7月出荷の夏作と10月出荷の秋作に分けて栽培しています。

当日は、5戸の生産者が48個のコンテナを持ち込みました。出荷に先立って選果スタッフや部会員らが立ち会い、品質を確認しました。

JAでは夏作「アールス」の出荷目標を13,000ケース、約104トンと見込んでおり、京阪神市場や県内各市場に夏の味覚を届けます。



本店

アグリミーティング2018 最新技術や作業服を紹介

7月7、8日の両日、松江市くにびきメッセでアグリミーティング2018と第8回農機総合展示会を開催し、県内各地から担い手の皆様をはじめとした2,111名にご来場いただきました。会場ではスマート農業ブースや各種相談ブースをはじめ、セミナー、農機展示など、担い手のニーズに沿ったものを多数取り揃え、最新情報を提供しました。農作業服を提案するファッションショーでモデルを務めたのは、各地区本部管内の担い手のみなさんです。特別ゲストとして竹下組合長とJA女性部の長島部長が登場するなど、会場は大変盛り上がりしました。当日は島根大産直市も開催し、出雲農林高校の生徒さんや地区本部などが、新鮮な野菜や農産加工品を販売しました。



気分はパコレモデル
竹下組合長と出雲農林高校の生徒さん

島根おおち

都賀小水力発電所始動

島根おおち地区本部が保有している、都賀小水力発電所が改修工事を終え、7月13日に竣工式をとり行いました。

都賀発電所は、江の川水系塩谷川の豊富な水資源を活かし、農業の近代化に伴う電力需要の増大に呼応するため、昭和38年に建設されましたが、およそ半世紀に渡る稼働で老朽化が進んだため、再生可能エネルギー特別措置法の法改正を転機と捉え、同法に基づく電力の固定価格買取制度（FIT）を利用し、29年度より大規模改修工事に着手しました。

改修後の新たな施設では、年間145万kwh（キロワットアワー）の売電を予定しており、安全なクリーンエネルギーの活用・確保に向けた取り組みをすすめ、地域の水資源を活かした小水力発電所を後世に引き継ぎます。島根おおち地区本部では、都賀小水力発電所の他、角谷小水力発電所も保有しており、10月竣工予定としております。

改修工事にあたり、地元の皆様のご理解とご協力を頂きましたことを厚くお礼申し上げます。



いわみ中央

みんなで取り組もう！ 日差しを遮るみどりのカーテン

JAしまねいわみ中央地区本部は、JAしまねとJAしまね女性部の統一行動『みどりのカーテン』の実施にともない、5月から6月にかけて各支店でゴーヤやアサガオ、ふうせんかずらなどの苗をプランターに植えました。暑い日差しをさえぎるみどりのカーテンが、今では窓を覆うくらいにまでなりました。これからも支店の職員で水やりなどをしながら育てていきます。支店だけでなく、JA女性部のそれぞれの家庭においてもみどりのカーテンを実施しています。今年は特に猛暑が続き、このみどりのカーテンが大活躍してくれることでしょう！



タテのカギ



- ①電流を流したり切ったりする装置
- ④深谷、下仁田、九条といえば
- ⑥膝より下、くるぶしより上
- ⑦野山を耕して田畑にすること
- ⑨鉄棒や跳び箱を使って行う一体操
- ⑪木を育てたり切り出したり加工したりする仕事
- ⑫体の90%以上が水分だという、水にすむ生き物
- ⑬年下の女きょうだい
- ⑮田楽にしてもおいしい紫色の実野菜
- ⑯あ、おいしそう。ひと——ちょうだい!
- ⑰カイコの繭から作ります

ヨコのカギ



- ①十五夜に飾る植物
- ②米の収穫作業の一つ
- ③エレベーターの表示では「B」
- ④よく飼われているペットなんだニャ
- ⑤石原裕次郎と牧村旬子のデュエット曲「——の恋の物語」
- ⑧——足りて礼節を知る
- ⑩和風の携帯薬入れ。黄門様のドラマでおなじみです
- ⑫恋愛運や金運などを見てもらいます
- ⑬カラオケ店で離さない人もいます
- ⑮招く人がホストなら、招かれる人は
- ⑰月の模様はウサギがこれをついているように見えるとか
- ⑱佐渡島に保護センターがある鳥

二重マスの文字を A ~ D の順に並べてできる言葉は何でしょうか?

1	6	9		13	16	20
2			11		17	
		10				
3	7				18	21
	8			14		
4			12		19	
5				15		

答え

A	B	C	D
---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町151
JAしまね 隠岐地区本部 「クイズ」係
平成30年9月5日（水）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「ナツマツリ」

ヒ	マ	ワ	リ	バ	ス
ヤ	ス	リ	ア	ラ	ブ
ケ	ア	シ	リ	シ	リ
ホ	イ	ツ	ス	ル	
ツ	ル	カ	イ	テ	
ク	モ	リ	エ	ツ	グ
エ	ン	マ	イ	ナ	ス

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

けんこうさんぽ
健康散歩
JA島根厚生連

胸部CT検診を受けてみませんか?

- 喫煙者、喫煙歴がある方
- 咳、痰などが続く方
- 40歳以上の方
- 家族に喫煙者がいる方
- 家族にがん歴のある方
- 家族・親戚に肺の疾患がある方

特に検診をお勧めする方

- がん発見率が高い（胸部X線検査の約10倍）
- 微細ながんを発見できる（5mm程度まで発見可能）
- CTで発見された肺がんは早期の比率が高く、その治療成績も良好
- 喫煙による肺へのダメージがはっきりと描出される
- 一般診療に比べ低線量被曝
- 短い検査時間（5分程度）

胸部CT検診の特徴

日本人の死亡原因の第1位はがんで、その中で最も多いのが肺がんです。肺がんは早期ではほぼ無症状で、症状が出てからでも肺がん以外の病気でも見られる症状（咳や痰など）が多く、早期発見が難しい病気です。また、肺がんは「たばこを吸う人の病気」というイメージが強く、実際に喫煙との関連が非常に大きい病気ですが、近年、日本人男性の約3割、女性の約8割の肺がんは非喫煙者に発症しています。肺がんには喫煙の影響が非常に大きいタイプとそうでないタイプがあり、喫煙以外の生活習慣や受動喫煙、環境などとの因果関係もあるので、誰もが十分にかかる可能性があります。

肺がん検診と聞いてまず思いつくのは胸部X線検査（いわゆるレントゲン）という人が多いと思います。では、「胸部CT検査」による肺がん検診というものもある事をご存知でしょうか？現在、厚生労働省が定める肺がん検診は、40歳以上の人を対象とした年1回の胸部X線検査や、痰を採取して顕微鏡で調べる喀痰検査です。しかし、これらの検査では早期の肺がんを発見するには限界があります。胸部X線検査や喀痰検査では発見しにくい、より早期の肺がんを見つけるためには胸部CT検査による肺がん検診が有効です。



営農技術情報

8月に入り、稲刈りが近づいて参りました。今年産は7,8月の気温が高く、早いところでは8月下旬から稲刈りが始まるのでは、と思っています。刈り取りまで要注意の害虫としては、台風で運ばれてくるウンカ類や隠岐で発生が多く見られるイネクロカメムシ(ゲントク)などで、収量への影響が大きいので注意が必要です。

今月は、出荷が近づいてきたので出荷袋の変更についてお繋ぎします。

本年産製造の袋より「平成」の表記は削除されました。平成の表記のある在庫を持っている方は先に使い切ってください。新しい袋の記入は年産(今年の場合は「30」)のみ記入して下さい。

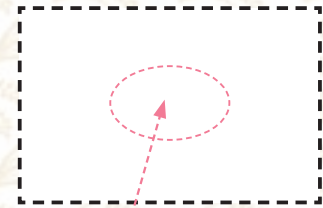
30年産 と記入

検査証明書

年産	種類	水稻うるち玄米	荷造り、包装及び左記の事項を証明する。
銘柄	島根県産		
正味重量規格	30kg		
皆掛重量	30.5kg		

検査請求者記載欄

検査請求者			
住 所	島根県隠岐郡隠岐の島町		← ②
代 理 人	島根県農業協同組合		
住 所	島根県松江市		
生 産 地	島根県隠岐郡隠岐の島町		← ③
品 種 名	()		← ④



「JA米」を削除
今年産から「JAしまね米」

- ① あらかじめ印字がない場合は「コシヒカリ」、「きぬむすめ」など記入カタカナ、ひらがな、漢字に注意!
- ② 生産者の住所を記入
- ③ 生産地の地区(例:「原田」)を記入
- ④ ①と同じ銘柄を記入(カタカナ、ひらがな、漢字に注意)

※重量は風袋込みで30.6kg以上を確認の上出荷して下さい。

※表記内容に不備があれば検査不可となりますのでご注意ください。不明な点があれば経済課へお問い合わせ下さい。

平成30年産農産物検査日程表

9月			10月			11月		
日	曜日	検査対象地区	日	曜日	検査対象地区	日	曜日	検査対象地区
1	土		1	月		1	木	
2	日		2	火	五箇	2	金	
3	月		3	水	磯・都万	3	土	文化の日
4	火		4	木	西郷・原田・中村	4	日	
5	水		5	金		5	月	
6	木	全域	6	土		6	火	
7	金		7	日		7	水	
8	土		8	月	体育の日	8	木	全域
9	日		9	火		9	金	
10	月		10	水	五箇	10	土	
11	火	磯・都万・中村	11	木	磯・都万	11	日	
12	水		12	金	西郷・原田・中村	12	月	
13	木	西郷・原田・五箇	13	土		13	火	
14	金		14	日		14	水	全域
15	土		15	月		15	木	
16	日		16	火	磯・都万・中村	16	金	
17	月	敬老の日	17	水		17	土	
18	火		18	木	西郷・原田・五箇	18	日	
19	水	磯・都万	19	金		19	月	
20	木	西郷・原田・中村	20	土		20	火	
21	金	五箇	21	日		21	水	
22	土		22	月		22	木	
23	日	秋分の日	23	火		23	金	勤労感謝の日
24	月	振替休日	24	水	全域	24	土	
25	火		25	木		25	日	
26	水	西郷・原田・中村	26	金		26	月	
27	木	五箇	27	土		27	火	
28	金	磯・都万	28	日		28	水	
29	土		29	月		29	木	
30	日		30	火		30	金	
			31	水	全域			

※9/6以前に検査請求があった場合は、別途対応する予定。

磯小学校で藻塩米の授業



7月13日、磯小学校で5年生を対象に「島の香り隠岐藻塩米」の授業を実施しました。授業では、島の香り隠岐藻塩米部会の村上淳一会長より米が出来るまでの課程や通常の水稲栽培と藻塩米を作る課程の違い、藻塩米の特徴などを説明しました。その後、実際に藻塩米の味を体験してもらおうと、「藻塩米」と現在日本で一番売れている北海道JA新すなわのお米「ゆめぴりか」とを食べ比べてもらいました。「藻塩米」と「ゆめぴりか」を食べ比べ、児童からは、藻塩米に対して「しっかりした食感」「あまい」など様々な感想があり、また「食べ比べでどちらが美味しかった」と尋ねると、半々の答えが返ってきました。児童の感想は卒直で大変参考となりました。

隠岐地区本部では、「農」に対する関心をもってもらうため、食農教育を積極的に実施しています。ご要望がありましたら、JAしまね隠岐地区本部経済課までお問い合わせください。

(報告／経済課)

水稲青空講習会開催

7月9日(月)、隠岐地区本部では毎年開催している水稲青空講習会を島内12会場で開催しました。

昨年は生育が早く、今回は昨年より11日早く開催しましたが、まだ幼穂が見られないほ場も多く緩やかな生育状況で推移しておりました。

全会場で80名の出席があり、説明する職員の話に皆熱心に聞いていました。

主には本年産の生育状況、穂肥の散布時期や量、病害虫防除などについてですが、毎年皆さんにお願いしていることは、未熟粒や心白粒子防の観点から、収穫1週間前に落水する水管理ですが、稲刈りへの支障を回避するため実施が困難な状況です。今年産は高温障害の影響などが懸念されるので、可能な限り水分を与えて頂き、粒張り向上に努めて頂きたいと考えています。



有木地区での様子

(報告／経済課)

平成30年度「島の香り 隠岐藻塩米」生産者研修会の開催

7月27日(金)に平成30年度「島の香り 隠岐藻塩米」生産者研修会を行いました。



講師として、(株)スズノブ代表取締役 西島豊造氏をお招きし、現在の水稲圃場の様子を見ていただいた後、今後の活動等について、隠岐支庁 農林局、隠岐の島町役場 農林水産課、JAしまね隠岐地区本部、隠岐の島町水田営農経営研究会 藻塩部会役員で打合せを行いました。

その後、生産者11名、関係機関8名、海士町より2名が参加し、平成30年度「島の香り 隠岐藻塩米」生産者研修会を開催しました。

研修会では、隠岐支庁 農林局の担当より現在の生育状況・今後の管理について、JAしまね 隠岐地区本部の担当より平成30年産の出荷基準について説明を行いました。

また、西島氏による「日本最高峰ブランド戦略」という演題で、他産地の取組や戦略について講演をいただき、「島の香り 隠岐藻塩米」のさらなる躍進を図るためのアドバースを多数いただきました。

隠岐の島町水田営農経営研究会 藻塩部会では、「島の香り 隠岐藻塩米」を通して、隠岐の島という小さな産地を知ってもらい、地域活性化を図っています。

(報告／経済課)

平成30年度隠岐の島町水田営農経営研究会 島外視察の開催



7月7日(土)から7月8日(日)に平成30年度隠岐の島町水田営農経営研究会の島外視察を行いました。生産者13名と事務局2名計15名が、出雲市芦渡町にある島

根県農業技術センターへの視察研修とアグリミーティング2018 in くにびきメッセに参加しました。島根県農業技術センターでは、複数の研究内容の中から、「きぬむすめ」酒米の栽培技術確立、「高密度播種(密播・密苗)への試験」、「1・90mmふるい目に対応するための米作り技術」、「有機米生産のための栽培技術」などについて研修を行っていただき、実際に圃場の見学をさせていただきました。

中でも、密播・密苗といった高密度播種の試験については、計画的に作業を行う必要があるため、管理が難しくなりますが、育苗時期や田植え時の作業の省力化が図れるため、生産者の皆さんが一番興味を示していたと感じま

した。

アグリミーティングでは、様々な農機・技術・資材についてのブースがあり、生産者の皆さんも各々興味のあるブースで、担当者からの説明を受けていました。

クボタの密播のブースでは、先日農業技術センターでの研修を受けたこともあり、多くの方が話を聞いており、導入を検討している様子が見受けられました。

また、農機の展示では、トラクターなどに興味を示している方が複数見られ、中でも全農による共同購入による60馬力のトラクターは、375万円ととても安く購入することができることで衝撃を受けている方が多数おられました。

また、新技術として、農業用ドローンの展示も多く見受けられたのが印象的でした。

セミナーステージでは、出雲農林高校によるぶどうの苗木についての研究発表や安来市のえーひだカンパニー(株)による講演、ファッションショーが行われ、会場を盛り上げていました。

(報告/経済課)

2018ジョブフェアに参加



7月10日(火)隠岐の島町総合体育館において、島内の中学生・高校生へ向けた島内企業の情報発信と生徒の早期職業意識形成を目的に「ジョブフェア

合同企業説明会」が開催され、JAしまね隠岐地区本部からも参加いたしました。

隠岐地区本部のブースでは、JAしまね全体の概況や隠岐地区本部の概況、取り組みについて紹介しました。また、今回は島内で野菜を主に生産している農家2名の方にもご協力頂き、実際に野菜等を耕作している中での「大変さ」や「楽しみ」また「やりがい」などの話をして頂きました。

今回のイベントを通じて、島内でも少子高齢化が進んでいます、中学生・高校生458名が一堂に参加した会場では、若さが溢れ活気を感じる中で、JAしまねのPRと農業担い手に繋がる一端になったのではと思います。

(報告/企画総務課)

お便りコーナー

読者の皆さんのご意見・ご感想を紹介いたします。たくさんのお便りお待ちしております。

(先月号の表紙絵を見て)稲佐の浜の景色を見たいものです。もう旅行はとも実現できません。先生の絵を楽しんでおります。

(中村・Iさん)今年の夏は特に暑いですが、JA職員の見た目暑そうな方が、きちんとJAたよりを爽やかに渡され、清々しい感じがしました。

(上西・Fさん)家庭菜園記事は大変参考になりました。まき時を守って、上等の玉ねぎを作りたいです。

(中村・Iさん)毎月読ませてもらっています。(クロスワードパズル)今回はすぐに解けたので、送ってみようと思いました。

(西田・Iさん)JAニュースで隠岐の活動の様子に知人が写っていて、親しみを持って読んでいます。

(栄町・Mさん)あっさりゴーヤチャンプル「しまねうれしび」の方法で作り、あっさりしておいしかったです。隠岐地区本部情報も、もりたくさんで、一番に読みました。各地区のとりくみ情報がよくわかりました。

(有木・Mさん)健康散歩(記事)にありましたように、私も毎朝、簡単なストレッチをやっています。特に今年は暑いので、無理をしないように皆様の体を維持しましょう。

(栄町・Uさん)今年はいつにない猛暑続きで、畑の野菜もぐったり同様に人間もぐったりです。畑のすいかを人様よりも先にカラスに食べられ全滅です。さぞかしカラスもどれを潤したでしょうね。

(原田・Yさん)

職員募集

島根県農業協同組合隠岐地区本部では、下記のとおり職員を募集します。

- ◆採用予定者数 正職員 若干名
- ◆受験資格 高等学校卒業以上の学歴を有する人で、昭和58年4月2日以降に生まれた人
＜必要な要件＞ 普通自動車運転免許
- ◆採用予定日 平成31年4月1日（予定）
- ◆職務内容 一般職（信用、共済、指導、販売、購買、その他各種事業）
- ◆給与 島根県農業協同組合隠岐地区本部給与規程による
- ◆試験 日 時：平成30年10月1日（月）9時00分～
場 所：島根県農業協同組合 隠岐地区本部
試験科目：筆記試験（基礎能力試験・適性検査）・面接試験
- ◆提出書類 ①受験申込書
②自筆履歴書（写真貼付）
③卒業見込証明書または卒業証書
④受験票貼付用写真1枚（タテ4cm×ヨコ3cm、単身胸上6ヶ月以内撮影のもの）
※申込みに際しての提出書類はお返し致しません。
- ◆受付期間 平成30年9月5日（水）～平成30年9月21日（金）17時（期間内必着）
- ◆申込・問い合わせ先
〒685-0016
島根県隠岐郡隠岐の島町城北町151番地
島根県農業協同組合 隠岐地区本部 企画総務部 企画総務課
TEL：08512-2-1131 FAX：08512-2-4320

【個人情報の取り扱いについて】

ご提出いただいた個人情報については、島根県農業協同組合隠岐地区本部職員採用目的にのみ使用し、漏洩、滅失、毀損の防止等、安全管理のために必要な措置を適切に行います。



おいしくて形の良い ダイコン作り のポイント

板木技術士事務所 ● 板木利隆

ダイコンは、強大な根を速いスピードで地中に形成するので、根形や品質が土壌や肥料栄養の影響を受けやすい性質を持っています。

そのためには、次のポイントを押さえて育てることが大切です。

(1) 畑の準備と元肥の施し方

少なくとも種まきの20日以上前に畑全面に石灰をまき、石ころや木切れなどを取り除きながら30cm以上の深さによく耕します。吸肥力は強い方なので、前作に堆肥が施してあれば、特に堆肥を与える必要はありません。

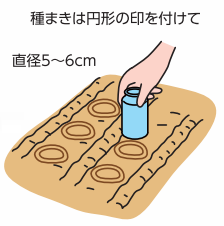
痩せ地で有機物不足が心配なら、完熟堆肥と有機配合肥料をよく混ぜ合わせ、事前に醗酵させた物を、株と株の間に当たる所に施し、根の伸びを妨げないようにします。

(2) まきどきを守る

早まきし過ぎると病害虫の被害を受けやすく、遅過ぎると根の肥大不足になります。関東南部以西の温暖な平たん地のまきどきは8月中旬～9月中旬です。品種による違いもあるので、種子を求めるときに適期を確かめ、適期範囲のやや遅めにまき、管理を入念にして成長を促進するよう心掛けましょう。

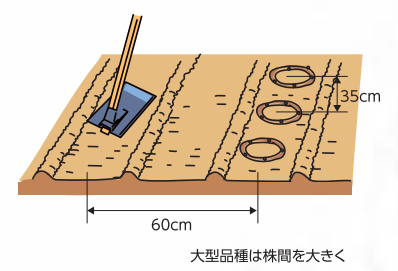
(3) 間引きと追肥、入念な土寄せ

種子は1カ所5～6粒を、瓶などで円状に付けた溝にまきます。発芽して本葉1枚の頃から8～9枚の頃にかけて3回ほど間引き1本立てにします。間引く際には、子葉がハート形で素直に開いている株を残すようにします。異常に育ちの早い株や、形が非対称の株は、岐根や短形



になる場合があるので残さないよう注意しましょう。

間引いたら株の周りに土を寄せ、風で振り回されないように保護し立ち上がらせます。追肥は第2回の間引き時から半月ごとに3回ほど与え、土を掛けて畝を作ります。肥料は化成肥料と油かすに加え、米ぬかを混ぜると食味が良くなります。



(4) 害虫の予防、駆除を怠りなく

アブラナ科野菜の常として各種の害虫（シンクイムシ、コナガ、アブラムシ、ハスモンヨトウなど）の被害が出やすいので、早めに発見、適応農薬を散布して防ぎます。

農薬に頼らない防除法としてはソルゴーを何列か置きに作り障壁にすること、防虫ネットやべた掛け資材の被覆などがあります。被覆は種まき後3週間以内ぐらいにししないと生育に支障を来すので、除覆する時期に注意してください。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



JALしまね 総合ポイントカード「おさいふカード」会員様へ
優待割引のお知らせ



JALしまね



メガネの三城

メガネ一式
10%OFF!!

補聴器
5%OFF!!

ご利用の際には、提携店舗にておさいふカードをご提示ください。

提携店舗

島根県内メガネの三城 全店

※他の割引が併用できない商品・サービスが一部ございます。詳しくは係員にお尋ねください。

お問合せ



JALしまね 本店経済部生活課 [TEL] **0853-25-8907**

農業技術センターフェア

2018

～島根が魅せる、農業の‘いま’と‘みらい’～

[と き] 9月15日(土) 9:30~14:30

[と ころ] 島根県農業技術センター (出雲市芦渡町2440)

研究展示・セミナー

- ・メロンやブドウの育種、自家製発酵有機肥料等についてのセミナーと試食
- ・新技術等のパネル、現物展示、研究は場見学、栽培技術相談
- ・玄米の食味値測定 (1人2点まで: 1点につき玄米200g)

農産物・加工品販売

- ・職員が丹精込めて作った果物、野菜、花等の販売
- ・地域の特産物販売
- ・農福マルシェ (福祉事業所の製品)

お楽しみイベント

- ・野菜収穫体験
- ・ビンゴ大会、クイズラリー、キッズコーナー
- ・農業女子農作業服の展示
- ・出雲農林高校太鼓部の演奏、ふれあい動物園

■お問合せ■

☎0853-22-6708 島根県農業技術センター

- ・JR 西出雲駅から徒歩10分
- ・国道9号線渡橋交差点から車15分



謹んで豪雨災害のお見舞いを申し上げます

この度の大雨により被害を受けられました皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

島根県農業協同組合
代表理事組合長 竹下正幸

島根産まれの食材レシピ しまねうれしぴ

料理研究家 土井小百合

トマトカレー



水を入れずトマトの水分のみで作るカレーです。トマトから水分が出るように弱火で煮込みます。いつものカレーにトマトを入れるだけで甘みと酸味がプラスされてとっても美味しいです。

●材料（4人分）

米	2カップ	チリペッパー	小さじ1~
鶏もも肉	1枚	ターメリック	少々
玉ねぎ	2個	ガラムマサラ	小さじ少々
トマト	4個	カレールウ	4皿分
にんにく	1かけ		
サラダ油	大さじ1		

●作り方

- ①鶏肉は一口大に切り、塩、コショウをする。
- ②玉ねぎは千切りにする。トマトは皮を湯むぎにし、1cm角に切る。にんにくはみじん切りにする。
- ③鍋に油を入れ、にんにくを入れ香りが出たら、玉ねぎを入れて炒める。
- ④鶏肉も入れ炒める。
- ⑤鶏肉に火が通ったらトマトを入れて炒め、弱火にしてフタをして煮込む。（好みにより、チリペッパー、ターメリック、ガラムマサラを入れる）
- ⑥トマトが煮崩れ、水分が出たらカレールウを入れる。



表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通（ののむらなおみち）先生に描いていただいています。

今月の表紙は簸川平野の稲刈り風景です。簸川平野は、主に斐伊川が運んだ土砂などが堆積してできた沖積平野で、肥沃で平らという特徴から、山陰でも有数の穀倉地帯として知られています。早いところでは8月に稲刈りが始まり、夏の入道雲と簸川平野の代名詞ともいえる築地松が相まって、当地特有の風景を見ることができます。

編集後記

県内の多くの小学校では、JAが主催する「みどりを守る児童画コンクール」への出品を、夏休みの宿題の一環で取り入れていただいています。夏野菜の収穫や、おじいちゃんの畑仕事をお手伝いする様子など、素敵な夏を過ごしたことが伝わる絵ばかりで、私の毎年の楽しみです。今年はどんな夏だったかな？（和）

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

